



猪苗代の米の販売力強化へ

土屋さんがコンクールで金賞受賞



表彰状を手にする土屋さん

国内最大のお米のコンクール「第12回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」は11月20、21の両日、島根県松江市で開かれ、会津有機米研究会(小林重希会長)の土屋睦彦さん(百目貫)のひとめぼれが、地域部門の金賞を受賞しました。

2,800を超える応募の中から見事金賞に選ばれた土屋さんは「研修や話し合いなど、米づくりのスキルアップを目指して研究会で活動してきた成果が出た。今回の受賞はまず第一歩。来年は総合部門で金賞を受賞して猪苗代の米をPRし、販売力の強化につなげたい」と抱負を述べました。

猪苗代湖にコイの稚魚放流

翁島小卒業生が水環境保全を誓う



一斉にコイの稚魚を放流する参加者ら

翁島小学校の昭和37年度卒業生(同級生92人)は12月4日、猪苗代湖の長浜でコイの稚魚約3,000匹を放流しました。

還暦祝いを兼ねた同級会を記念して、生まれ育った古里の湖の水環境と生態系を守ろうと幹事有志が企画したもので、同級会出席者から約30人が参加。猪苗代・秋元非出資漁業協同組合の渡部英一組合長立ち会いの下、一斉に稚魚を放しました。

幹事長の古川剛さん(北烏帽子)は「初めての試みだが、60歳の節目にみんなの心に残る思い出ができたと思う」と笑顔で話しました。

心を潤す音色に酔いしれる

学びいなでいなわしろ音楽祭開催



猪苗代吹奏楽団と猪苗代高校吹奏楽委員会の演奏

2010いなわしろ音楽祭は12月11日、学びいなで開かれました。猪苗代吹奏楽団のほか、福島県ばんだい荘あおば、猪苗代中学校3年2組、猪苗代高校吹奏楽部、陸上自衛隊郡山駐屯地音楽隊や千里幼稚園など5団体が参加。また、会津磐梯山全国大会グランドチャンピオンの馬場ゆかりさん(会津若松市)も参加して、民謡や津軽三味線などを披露しました。

吹奏楽はもちろん、太鼓や合唱などさまざまな音色に包まれた学びいな大ホールは立ち見が出るほどの大盛況。アンコールの演奏が終わると、会場から割れんばかりの拍手が贈られました。

署員らが火災予防を訴える

子どもたちと街頭啓発活動を実施



買い物客に歌で火災予防を呼び掛けた園児ら

猪苗代消防署の街頭啓発活動は12月13日、町内のヨークベニマル猪苗代店とリオンドール猪苗代店で実施されました。

活動には消防署員のほか町消防団員、町婦人消防隊員など約50人が参加。買い物客に防火を呼び掛けるチラシやティッシュなどを配ったほか、猪苗代保育所の子どもたちが拍子木に合わせて幼年消防の歌を披露し、火災予防を訴えました。

署員らは「自らの命は自らで守る」という意識の向上を図るとともに、既存住宅への住宅用火災警報器の早期設置を促進しようと真剣な表情で呼び掛けました。

商店街を明るく照らす光に

町中央商店街にイルミネーション



こぼほん前で点灯されたイルミネーション

町内の商工関係団体などによるイルミネーション点灯式は12月17日、町の駅「こぼほん」前で開催されました。

町商工会、まちづくり猪苗代や町観光協会などが中央商店街の活性化につなげようと初めて開催したもので、同所のほか、六角橋、工房ポプリや商店街の無料駐車場などに大型のイルミネーションを設置、街路灯22基にも電飾を設置しました。

式では、一ノ瀬正一町商工会会長代行が「猪苗代の冬の風物詩として定着してほしい」とあいさつした後、関係者がスイッチを入れてイルミネーションを点灯させました。

12年後の自分にメッセージ

小学6年生がタイムカプセル埋設



思い出の品などを入れた宝箱に鍵をかける各校の児童

猪苗代の子供たちの夢を応援する会(鈴木長治代表)が主催する第4回「猪苗代“えと”タイムカプセル」埋設式は12月17日、ホテルリステル猪苗代内の猪苗代ハーブ園で開催され、町内各小学校から6年生約130人が参加しました。

参加した児童を代表して、千里小学校6年の小林幹さんと星野光恵さんが「12年後の自分に手紙を書きました。みんなで宝箱を開ける日を楽しみに12年間頑張ります」と発表。その後、宝箱に鍵を掛け、鍵を入れたタイムカプセルを来年のえとであるウサギの彫刻の下に埋めました。